

子供たちに、かき氷や綿あめを作って提供する
青年部のメンバー



交流活動活発に

清水町 役場 青年部が夏祭り参加

【清水】昨春秋、5年ぶりに活動を再開させた役場職員組合青年部（花村祥志部長、部員18人）は20日、地域貢献活動として熊牛保育所（高金信昭所長、園児15人）の夏祭りに参加した。今後、さらに活動を活発させる。

同青年部は30歳未満の町職員で構成。財政難による町の行財政改革の一環で退職者補充や新規採用が抑え

られる中、対象となる職員の減少で5年ほど前から休部となっていたが、2009年からの新規採用再開などを受け、昨年11月に再び活動を始めた。

夏祭りは、同保育所の要請を受けて部員5人が参加。「子供たちが喜ぶように」とかき氷と綿あめを提供した。園児の松澤涼華ちゃん（6）は「かき氷がおいしかった」と笑顔だった。

今後も学習会などを行っていく方針。同部の佐々木淳書記長（企画課）は「町民の方との交流は、町職員にとっても有益なこと。機会があればイベントなどにも参加したい」と話していた。（大谷健人）